

血液検査用グルコースキット

再使用禁止

フォラケア GD40 センサー EDTA 用

【警告】

1. 本製品は臨床検査の専門家等が使用すること。
2. 以下の患者には使用しないこと。
 - ・キシロース吸収試験を実施中の患者
 - ・ブラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者[実際の血糖値より高値を示すことがあるため、インスリン等の血糖降下剤を大量に投与することにより重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]
3. センサーは再使用しないこと。[正しく測定できない。]

【重要な基本的注意】

1. 指先から採血する場合は、穿刺前に必ず流水でよく手を洗うこと。
2. 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがある。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告がある。]
3. 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等の部位から採血した血液を用いて測定すること。
 - ・脱水状態
 - ・ショック状態
 - ・末梢循環障害

【全般的な注意】

1. 本品は体外診断用である。記載の目的以外に使用しないこと。
2. 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて医師が総合的に判断を行うこと。
3. 添付文書に規定された以外の使用方法については保証しない。
4. 組み合わせて使用する測定器の添付文書および取扱説明書をよく読んでから使用すること。

【形状・構造等（キットの構成）】

1. 各部の名称及び機能



No	名称	説明
①	血液吸引口	血液を点着する
②	確認窓	十分な血液が吸引されているか確認する
③	把持部	取り扱い時にはこの部分を持つ
④	接続端子	測定器の挿入口に挿入する

2. 本品は下記の成分を含有する。
 - グルコースデヒドロゲナーゼ
 - フェリシアン化カリウム
3. キットの構成
 - ・フォラケア GD40 センサー EDTA 用

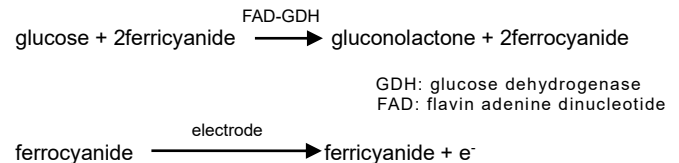
【使用目的】

血液中のグルコース濃度の測定

(主に糖代謝機能障害及び異常を伴う各種疾患（糖尿病他）の経過観察等)

**【測定原理】

検体中のグルコースに対して以下の反応が起こる。



これによって得られた ferrocyanide を電気化学的に定量することでグルコースの量を算出する。

【操作上の注意】

1. 測定試料の性質、摂取法
抗凝固剤は EDTA を使用すること。ヘパリン、フッ化ナトリウム、シュウ酸カリウムは使用しないこと。
2. 妨害物質など
- 1) 測定する検体にヨウ化物イオンを遊離するような物質が存在している場合には、偽高値となる可能性がある。
- 2) 以下の濃度を超える場合、測定値に±10%以上の影響を与える可能性があるので注意すること。

項目	測定値に±10%以上の影響を与える濃度 (mg/dL)
アセトアミノフェン	6.25
アスコルビン酸	5
ビリルビン（非抱合型）	20
ドーパミン	1.25
レドーバ	0.7
メチルドーバ	0.625
還元型グルタチオン	23
脂質（中性脂肪）	3000
ブラリドキシムヨウ化メチル	5
トラザミド	6.25
尿酸	10
マンニトール	5000
マンノース	250
キシロース	6.25

- 3) ヘマトクリット値が低い場合は測定値が高く、ヘマトクリット値が高い場合は測定値が低くなるおそれがある。
- 4) マルトース、ガラクトース、イコデキストリンの影響は受けない。
- **5) ヒドロキシカルバミドを服用中の患者の検体において、偽高値を示す可能性があり、この測定結果をインスリン投与量の判断に利用している場合、低血糖となる可能性がある。

【用途・用量（操作方法）】

1. 試薬の調製方法
本品はそのまま使用する。
2. 必要な器具・器材・試料等
・「フォラケア・GD40」（届出番号 13B1X10090000011）
3. 測定方法
- 1) 本品を測定器のセンサー挿入口に挿入すると、自動的に起動する。
- 2) 本品の血液吸引口を血液に接触させると、血液が吸引される。測定が始まると電子音が鳴って反応が始まりカウントダウンが表示される。なお、必要な検体量は 1.1μL である。
- 3) カウントダウンが終了すると血糖値が表示される。測定結果は自動的に測定器に記録される。イジェクターを押してセンサーを排出すると、測定器は自動的にオフになる。使用済みの本品は廃棄する。

【測定結果の判定法】

1. 血糖値の測定結果

血糖値の測定結果はmg/dL を単位として表示される。測定結果が測定可能範囲（10～600 mg/dL）を超えた場合、測定器は以下の情報を表示する。

- ・"Lo" 表示：測定結果が測定可能範囲より低いことを示す。
血糖値が非常に低い（低血糖）か、操作に誤りがある。
- ・"Hi" 表示：測定結果が測定可能範囲より高いことを示す。
血糖値が非常に高い（高血糖）か、操作に誤りがある。

なお、血糖値が極端に低いまたは高い場合、上記以外のエラーを表示する場合があります。

2. 測定結果に疑問をもつ場合

以下の点を確認する。

- ・血液が本品の確認窓を完全に覆っているか
- ・本品は使用期限内および開栓後 90 日以内か

3. 機能確認

以下の場合には、本品が正常かつ安全に動作することを専用のコントロール液を使用して確認すること。詳細な使用方法は取扱説明書を参照すること。

- ・本品または測定器が正常に機能していないと感じる場合
- ・測定器を落とした場合（強い衝撃を与えた場合）
- ・測定結果が自覚症状と異なる場合
- ・しばらく測定器を使用しなかった場合

【性能】

1. 性能

1) 感度

10～600 mg/dL の範囲で 5 濃度の静脈全血を試料として直線回帰式を求めたとき、傾きは 0.95～1.1 の範囲である。

2) 正確性

毛細管血を測定するとき、既知濃度の±15%以内にある。ただし、100 mg/dL 未満の濃度では既知濃度の±15 mg/dL 以下である。

3) 同時再現性

同一検体を 5 回同時に測定するとき、得られた測定値の変動係数（CV）は 5%以下である。

2. 測定範囲

10～600 mg/dL

3. 相関性

本品（y）と過酸化水素電極法による分析装置（x）を比較した結果、回帰式および相関係数は次のとおりであった。

検体数：130

回帰式：y= 1.004x-3.826

相関係数：0.9946

4. 校正基準用物質（標準物質）

YSI2747

【使用上の注意】

- 1) 本品は指定の測定器のみに使用すること。
- 2) 本品は汚れた手または濡れた手で触らないこと。また、長時間手の中で保持しないこと。
- 3) 結露しないよう注意すること。高湿度下に置いた時、または急激に温度変化させた時に結露するおそれがある。結露した場合、異常値を示したり、測定不能の原因となることがある。
- 4) 測定器のセンサー挿入口に挿し込むときに、無理に力を入れて折り曲げたりしないこと。
- 5) 使用後は感染の危険性があるため、他の人に触れないように廃棄すること。

6) 採血部は感染の危険性があるため、採血後の処置を適切に行うこと。

7) 使用期限を過ぎた本品は使用しないこと。使用期限は本品のバイアルおよび包装箱に表示されている。

8) 一度開栓したバイアルは 90 日以内に使い切る。90 日を過ぎて使用した場合は、異常値を示す原因となる。

9) 開栓後 90 日以内であっても、使用期限を過ぎた本品は使用しないこと。使用した場合、異常値を示す原因となる。

10) 本書に記載の貯蔵方法に従って保存すること。特に、0℃以下で保存すると異常値を示す原因となる。

11) バイアルから取り出した本品はすぐに使用し、開栓したバイアルはすぐにふたを閉めること。使用していない本品はバイアルに入れ、しっかりとふたを閉めて保管すること。

12) 本品を他のバイアルへ移し替えないこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管温度：2℃～32℃

有効期間：製造後 18 ヶ月間

- ・バイアルの開栓後は 90 日以内に使用すること
- ・使用期限はバイアルおよび包装箱に記載されている

【包装】

50 枚入りバイアル

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社フォラケア・ジャパン

東京都港区新橋 5-10-8 FORA ビル

（TEL）03-6452-8642

外国製造業者（国名）

Taidoc technology corporation（台湾）